

平成 24 年度 AOTULE 加盟大学との教育研究連携助成 採択者

〔研究者〕	
	<p>氏名 江頭 竜一（えがしら りゅういち）</p> <p>所属 国際開発工学</p> <p>職名 准教授</p>
〔タイトル〕	
国際開発をキーワードとしたAOTULE加盟大学との学生交流	
〔背景〕	
<p>国際開発工学科の授業科目の一つである「国際開発コロキウム」においては、開発途上地域に100万キロワット級の火力発電所を建設することを想定して、生産プロセス、土木建造物の設計、配置計画、財務・経済分析、などを総括したプロジェクトの進め方を学習させている。本授業科目は、平成10年から開講してきた旧開発システム工学科時の「開発システム工学コロキウム」を前身とするものである。具体的には、途上地域での電力事情、発電所建設ODA、発電プラント、財務・経済分析理論の基礎、などの概要を講義したのち、学生をそれぞれ7～8名の3～4グループに分け、このグループごとに発電プロセスの計算、立地場所の選択、所内の配置計画、財務・経済分析を行わせ、その結果を発表、討論するものである。開発途上国における発電所の建設を想定していることから、このような検討結果の発表を国際的な場で他国の学生との討論も含む形で行うことができれば、学生の理解もさらに深まるものと期待できる。</p> <p>一方AOTULEでは、毎年メンバー大学が持ち回りでホストを担当し学生ワークショップを開催している。ここでは、様々な工学分野からの大学院生の研究発表が主であるが、本学からは、これまで、機械系、電気系、本学科、などの学科から学部生の授業科目等での成果に関する発表も行われている。大学院生の研究発表はもちろん、本学からのこの学部生の発表についても、ワークショップを活気づけるのに効果を上げていると、ホスト大学や他のメンバー大学から好評を得ている。</p>	
〔目的〕	
<p>本年度の上記「国際開発コロキウム」における3グループの発表のうち評価の高かった1グループをAOTULE学生ワークショップに派遣し、国際的な場での発表、他国の学生との討論などを経験させること、この参加への意欲を発奮材料として本授業科目全体を活性化させること、ならびにAOTULE活動を通して学生交流を活発化させることを目的とした。</p>	
〔実施計画概要〕	
<p>上記「国際開発コロキウム」において、評価の高かったグループの学生8名(日本人5名、留学生3名(いずれも中国))をAOTULE学生ワークショップに派遣する。</p> <p>本年度のAOTULE学生ワークショップは、11月24および25日の両日にマレーシア・クアラルンプールのマラヤ大学で開催される。この間、ワークショップ翌日の11月26日も含めて、マラヤ大学内の見学ツアー、学生交流プログラムなどの活動に参加する。本授業科目の主担当であり本学AOTULE委員でもある江頭が引率する。また、他のAOTULEメンバー大学の教員と、AOTULE学生ワークショップの際の本渡航プログラムについて情報・意見交換し、今後の本プログラムの拡充について探る。11月26日については、現地のAOTULE加盟ではない他の大学の見学なども検討する。</p>	